

景況レポート・9月

9月の県内景況は、販売価格、収益状況に前月からの回復が見られるも、全体としては厳しい状況にある。

情報連絡員による平成25年9月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが31.7%（前月比-13.3）、「横這い」は40.0%（同+10.0）、「好況」は28.3%（同+3.3）となっており、業界全体の「景況感DI」は-3.3（同+16.7）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

- ◇「売上高」「在庫数量」「取引条件」が前月と比較して減少しています。
- ◇「販売価格」「収益状況」「資金繰り」が前月と比較して改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

- ◇前年同月と比較して、木材製品製造業、建設業は「快晴」または「晴れ」、食料品製造、鉄工機械製造、その他の製造、卸売業、小売業、サービス業は「薄曇」または「曇り」、その他の業種は「雨」となっています。
※DI値 +30以上「快晴」 +10~+30未満「晴れ」 -10~+10未満「薄曇」
-30~-10未満「曇り」 -50~-30未満「雨」 -50以上「大雨」

3. 個別の報告の概要

- ◇食品製造業、卸売業、運送業より、円安による原材料・燃料費高騰等の影響について報告があります。
- ◇食品製造業、商店街より、第一原発の汚染水流出問題の影響への不安の声があります。
- ◇再生資源業より、消費税増税に踏み切った政府の好況判断と業界の感覚とは乖離しており、より一層厳しい状況になることを懸念しているとの声があります。

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が26.7%（前月比+6.7）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答16件）（製造業8、非製造業8）。また、やや悪化、悪化の見込みは、25.0%（前月比-1.7）と減少しております。変わらないが、48.3%（前月比-8.0）と減少しております。

平成25年9月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100.0%）

木材・木製品製造業

<製材業>

原木丸太出材の減少に加え、需要増から丸太の価格が上昇している。一方製材品も住宅着工が堅調なことから荷動きは引き続き活発で、製品価格は上昇基調にある。

<外材輸入>

製材品の荷動きは前月に引き続き順調に推移しているが、価格については天井感が強く採算面では厳しい状況にある。消費税の駆け込み需要の気配は全く感じられない。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<鉄工>

（県中地区）

建設用鉄骨関係は忙しいが、機械加工はなかなか厳しい。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、見積引合はやや減少状況で推移、各社とも受注確保に苦慮している。したがって、今月も売上高・収益状況は前月と同様に厳しい状況である。

<電子工業>

業種によっては（製造品）好転の企業も見受けられます。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール箱>

紙器業界における昨今の動向について、情報交換を行ってみると、9月に入っても印刷卸、貼箱、簡易箱関係を中心に受注量は低迷している。8~9月の売上高は前年同期比減の傾向にある。前年比が売上高の増加した月もあったが収益は伸び悩んで、業界はまだ厳しい状況が続いている。

小売業

<石油>

9月中旬以降、元売の仕切価格が値下がりとなっている。これにより一般小売価格も下落傾向となっているが、台風等による気候の影響から、大幅な売上減少となった。秋の行楽シーズンを迎え、燃料油のみならず、洗車等の油外収益確保に期待したい。

<青果>

前月同様天候の影響から野菜・果物等の単価の高騰が続いたが、品薄の状況もみられた。秋彼岸の取扱も少し増加となった。ただ、9月後半から取扱が始まったきのこ類については放射能関連による規制がかかり、来月にかけても少なからず影響が出るものとみる。松茸など豊作で安価で手に入るとのことで期待もあったのだが、みしらず柿の生育も順調とのことで、販売が好転することを期待したい。

<電機>

このところ来月4月消費税8%の関係で高額商品に動きがある。特にエアコン関連の高額商品が顕著である。2020年の東京オリンピック開催決定により今後TVの4K8Kに各社が力を入れるだろう。今後の売上が期待できるのではないかと思う。

印刷業

<印刷>

業界の景況として、受注状況は減少傾向が続き、秋口の需要期も厳しい見通しと思われる。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

例年8月よりは売上が落ちる。10月、11月は観光シーズンなので、9月よりは売上増となる。

<砕石>

（県北地区）

1. 当月売上高の前月比 約14%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約10%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約78%の増
4. 原因・状況 放射線除染工事への出荷は続いているが、公共工事への出荷が少なかった。

<生コン>

平成25年9月の組合員生コン出荷数量は、157,992m³と対前年同月比12.1%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比7.3%の減、官公需が22.9%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 7.3%の減

①対前年同月比増加地区

<白河地区> 90.6%の増

工場、倉庫新築工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 3.0%の減

福島成蹊高校南校舎新築工事、ラコバふくしま新築工事等

<県中地区> 24.4%の減

工場、物流倉庫新築工事等

<いわき地区> 8.7%の減

工場新築工事等

<相双地区> 8.1%の減

原発保安対策工事、常磐道浪江地区工事等

<会津地区> 33.4%の減

会津中央病院増築工事、老人ホーム新築工事等

■官公需の動向

対前年同月比 22.9%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 30.8%の増

再生可能エネルギー研究施設工事、東部幹線桜木地区橋梁整備等

<いわき地区> 52.0%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 72.2%の増

海岸保全施設整備工事、相馬港災害復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 34.0%の減

栗子トンネル2期工事、福島医大新実習棟建設工事等

<白河地区> 10.4%の減

県営、市営住宅災害復旧工事等

<会津地区> 32.8%の減

鶴城小学校新築工事、復興住宅建設工事等

繊維・同製品製造業

<ニット>

製品作りで縫製工程が滞りがちではあるが、製品出荷の最盛期で忙しい。

<縫製品>

秋冬物が早く終了した。春夏物の受注がまだ決まらず、操業度は悪い。前倒しで休日を増やしている企業もあった。

食品製造業

<漬物>

昨年9月は暑く、漬物が売れなかったが今年は昨年より気温が下がり、売れ行きがよかった。

<味噌醤油>

原発の汚染水問題は、全国的規模によりマスコミ報道がなされ、次から次へと不安化している。相双地区のみならず、県内全域に悪影響が出てくることを懸念している。風評被害は未だ続いており、厳しい状況である。主原料の大豆・小麦などのほか、副材料・資材も高騰している中、製造コストアップと出荷数量の減少によりさらなるダメージを受けている。

<菓子>

後継者問題や高齢化により廃業してしまう傾向にあり、組合員減少に歯止めがかからない。会津若松菓子組合が県菓子工業組合にメリットがないとの理由で脱退してしまった。当組合にとって大きな損失である。

<酒造>

全体的に好調となっている。吟醸・純米が相変わらずよく普通酒も健闘している。秋の観光シーズンで売上を伸ばしたい。イベントの数も増えてきている。

<食品団地>

原油の仕入値は横ばいであったが、原材料の価格は高止まりしたままで、厳しい状況ではある。前月比に対して売上も減少し、消費は停滞している。

運輸業

<トラック運送>

（県北地区）

トラック運送業界では、景況感の判断は、先月から引き続きほぼ横ばい状態、燃料コストはやや改善しているものの負担が大きい。

（県中地区）

軽油の高騰で、昨年比10円/ℓ、3年前比25円/ℓの上昇になっている。非常に厳しい事業運営を強いられている。

<ハイヤータクシー>

対前月比、対前年同月比ともに不変となるが、前月は落ち込みが大きかったことから、厳しさは変わらない。観光シーズンに向け少しでも動いてくれることを期待している。

サービス業

<旅館業>

(湯本温泉)
8月は学校が休み(夏休み期間)中なので観光客は多少なりとも多かった。9月は8月に比べて減少している。
(土湯温泉)

「つちゆアラフドアートマニュアル2013」を9月4日～10月14日まで開催している。県外の現代芸術家32名が、土湯温泉の空き店舗や空旅館、自然空間に作品を展示している。10月14日までに約10,000人の来場者を見込んでいる。県外からの見学者も非常に多く、福島県の観光情報発信に大いに役立っていると思う。

<理容業>

9月に入っても前半は暑い日が続き、夏メニューが好調だった。商売にとっては暑い時期のほうがいい。後半はめっきり涼しくなり、朝夕は肌寒さも感じられるようになり客足も減った。毎年のことだが、涼しくなってくると来店頻度も伸びてくるので、秋に向けて夏の暑さで傷んだ髪やお肌の健康管理を提案していきたい。

<廃棄物収集運搬業>

廃棄物関連はいい方向へ行っているようです。サービス業(ビルメンテナンス関連)はまだ動きが悪いようです。

建設業

<建設業>

(県一円)
平成25年度4月～8月までの県発注工事における金額ベースの累計状況は、前年同月比で約20%の減となっている。なお、県は平成25年度を復興再生加速元年としていることから、下期における事業量の増加が予想される。

(県南地区)
除染業務において人手、下請不足で進捗状況が予定通りになっていない地区がある。土木工事は前年より減少しているが、建築工事は若干増加している。

<管工事>

前月比で給水設備申請が減少し、排水設備申請が増加した。対前年同月累計対比では、給水設備申請が増加し排水設備申請が減少している。

<専門工事>

東京オリンピック・パラリンピックの誘致も決まった一方で、消費税の値上げも決定する等、プラス面とマイナス面が混在している状態に入った。単純に「仕事量」という面では相当量が確保できる可能性がある反面、全体的には「困った」、「大変だ」というネガティブな発言が多く聞かれる。ネガティブな発言の要因としては、根本的な資材価格の上昇や人件費の高騰といった問題はプラスマイナスどちらの意味でも払拭されていないこと等が考えられ、混乱なく対応していくためには民間のみならず行政サイドからの支援も必要だと思う。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)
業界全体が緩やかな改善傾向にある。雇用については業種によるバラツキがあるものの、建築資材分野は人手不足感が強い。その他の業種についても以前のように人材採用が容易ではなくなってきている。消費税増税によって景気の腰倒れを懸念する声が広がっているが、建築分野においては現在でも受注がいっぱいであるのに、今後予想される駆け込み需要に対応できるか?同時に仕入価格がさらに上昇するのではないか?その後の反動はどの程度か?等のとまどいの声があがり始めている。

<再生資源>

再生資源原料の発注量は減少し続け、売上の減少も止まらない。加えて、燃料費、光熱費は増加し、収益を圧迫している。消費税の増税に踏み切った政府の好況判断と当業界の感覚とは乖離しており、より一層厳しい状況になることを懸念している。

商店街

<福島市>

連休が2回あり、イベント等が行われてその会場においては人手もあったが、商店街への回遊は少なかった。平日の街中は静かである。

<郡山市>

今月末の秋祭りは、今年は金土日曜日であり、3日間晴天に恵まれたこともあって、少し盛り返した感じでした。ほかのイベントは台風や雨の影響で散々な状況でした。10月も9月に引き続いてイベントが多いので、台風だけは避けてもらいたいものです。10月はうすい百貨店の催事が好調に進んでいるので、天気にも恵まれれば前年比増も期待されます。

<南相馬市>

地域商業活性化事業に取り組み4カ月が過ぎ、11月3日は大抽選会と歩行者天国です。お買い上げ抽選券もかなりの枚数を回収しています。あと一カ月はりきってがんばっていきます。一方では、放射能汚染水漏れ問題は、地域に暗い影を落とし、市民の帰還問題を深刻なものとしています。

<会津若松市>

恒例の「会津まつり」は例年より人出があったように感じた。しかし販売のほうにはつながらなかった。残暑が厳しく秋物衣料の動きが鈍いようである。

<いわき市>

今年の9月は厳しい残暑もなく、秋の訪れを感じさせる気候だったため、秋物(アパレル・服飾雑貨)の動きが早かった。市長選後は来店客数も増加し、売上は伸びたようだ。ただ、10月の先買いとみている店も多く、9月10月トータルで秋商戦をみるべきとの声もある。飲食店は変わらず好調、昼のランチも女性を中心に満席の店も多いようだ。

景況天気図 9月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴 30以上	☁ 曇り -30~-10未満
☀ 晴れ 10~30未満	☔ 雨 -50~-30未満
☁ うす曇り -10~10未満	☔ 大雨 -50未満

項目別DI業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-42.86	-14.29	0.00	14.29	-14.29	-28.57	-28.57	-28.57	0.00	0.00	0.00	-14.29
繊維製品製造	0.00	0.00	0.00	-33.33	0.00	0.00	0.00	-33.33	0.00	0.00	-33.33	-33.33
木材製品製造	75.00	50.00	25.00	50.00	50.00	50.00	25.00	50.00	0.00	0.00	50.00	75.00
鉄工機械製造	20.00	0.00	0.00	0.00	-40.00	-40.00	-20.00	-40.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00
その他の製造	-14.29	42.86	0.00	28.57	14.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-14.29	0.00
卸売業	-50.00	-25.00	-50.00	0.00	-50.00	-25.00	-25.00	-25.00	25.00	25.00	-50.00	-25.00
小売業	-22.22	-22.22	22.22	33.33	11.11	-11.11	-11.11	-22.22	-11.11	0.00	0.00	-11.11
商店街	0.00	-33.33	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67	-50.00	-33.33
サービス業	0.00	42.86	0.00	14.29	-28.57	14.29	-28.57	0.00	14.29	28.57	-28.57	-14.29
建設業	20.00	40.00	0.00	60.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	20.00
運輸業	33.33	33.33	0.00	0.00	0.00	-33.33	0.00	-33.33	-33.33	-66.67	0.00	-33.33



くるみんからのお知らせ

育児・介護休業規定整備の相談に応じています!
両立支援のための出張相談をご活用ください

福島労働局雇用均等室では、雇用均等室で相談を受けている他、以下の県内5カ所のハローワークにおいて、
◆ 育児・介護休業等「家庭と仕事の両立」のための法制度の情報提供や就業規則整備
◆ 男女雇用機会均等法やパートタイム労働法等に関する各種相談
について専門の相談員が個別に相談に応じています。お気軽にご利用ください。

【相談会場、相談受付日】

◆ ハローワーク福島	(毎月 第1・第3火曜日)	9:00~13:00
◆ ハローワーク平	(毎月 第3金曜日)	10:00~12:00、13:00~15:00
◆ ハローワーク会津若松	(毎月 第3木曜日)	12:00~15:30
◆ ハローワーク相双	(毎月 第2・4水曜日)	11:00~12:00、13:00~15:00
◆ ハローワークブラザ郡山	※主にパート労働関係 (毎月 第2・4月曜日)	11:00~12:00、13:00~15:00

相談は無料。
秘密は、厳守します。

* 予約は不要ですが、相談状況によってはお待ちいただくことがあります。
* 事前予約も受け付けておりますので、下記あてにご連絡ください。
お問い合わせ先 福島労働局雇用均等室 (TEL 024-536-4609)
* 福島県中小企業団体中央会においても両立支援や子育て支援などに関する相談を受け付けています。
お気軽にお問い合わせください。